



(別添)

2020年12月24日  
NITE(ナイト)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中国支所

# News Release

## テレワークで大混雑 ～プラグ・コードの取り扱いに注意～

### —中国5県版—

#### 1. プラグ・コードの事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>では、プラグ・コード<sup>※2</sup>の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2010年度から2019年度までの10年間に74件<sup>※3</sup>ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) テーブルタップ、延長コード及びマルチタップなど。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

#### (1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」プラグ・コードの事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」プラグ・コードの事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2015年度		2	3		3	8
2016年度			1			1
2017年度	2	1		1		4
2018年度	1		1			2
2019年度			1	2	1	4
合計	3	3	6	3	4	19

## (2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」プラグ・コードの事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」プラグ・コードの事故発生件数

被害状況※4		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡				1		1
	重傷					1	1
	軽傷						0
物的被害	拡大被害	1	3	4	2	3	13
	製品破損	2		2			4
被害なし							0
合計		3	3	6	3	4	19

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## (3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」プラグ・コードの事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」プラグ・コードの事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの					3	3
B：製品及び使い方に問題があったもの						0
C：経年劣化によるもの						0
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの						0
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの			2			2
F：その他製品に起因しないもの		1				1
G：原因不明のもの（G3を除く）	3	2	4	3	1	13
H：調査中のもの						0
合計	3	3	6	3	4	19

## 2. 事故事例の概要について

中国5県で発生したプラグ・コードの事故の主な事例を示します。

① 延長コードに水槽の水がかかり、トラッキングにより出火した事故。

2016年3月（岡山県、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品に電気製品を接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

事故品の延長コードは観賞魚用水槽に隣接して設置されており、当該製品の直上には外付けの水槽用ろ過装置が設置されていた。コードのタップ部内部に水分が浸入したため、電極板の異極間でトラッキング現象を生じて出火したものと推定される。

② 固い素材のコードを繰り返し曲げたため、断線とスパークが発生し、延焼した事故。

2016年2月（山口県、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

延長コードを使用中、差込みプラグ付近から火花が出て、周辺が焦げた。

【事故の原因】

プロテクター一部の樹脂材料（塩化ビニル）の柔軟性が低いこと、及びプロテクター一部の形状、肉厚の影響等により、コードとの境界部に集中的に曲げ応力が加わり、断線・スパークが生じたものと推定される。

③ 電源タップとの接続部分から出火した事故。

2019年2月（鳥取県、年齢・性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

学校で当該製品を延長コードに接続して電気製品を使用していたところ、当該製品の電源プラグ部及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

全長30mの電源コードを有するコードリールで、本体のコンセント部に冷蔵庫が接続され、電源プラグは電源タップを介して隣の教室の壁コンセントに接続されていた。電源タップの刃受金具が焼失していたため、電源プラグと電源タップとの接続部で異常発熱し、出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、詳細は確認できなかった。

### 3. プラグ・コードの事故の実験映像について

プラグ・コードの事故の実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

**(本件に関するお問い合わせ先)**

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館  
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所  
担当者：東瀬、折田  
電話：082-211-0411

以上